

患者さまが受けられた医療に関するご遺族へのアンケート調査 ご協力をお願い

謹啓

突然、このようなお手紙を差し上げることをお許しください。

このたび、厚生労働省委託事業として、亡くなられた患者さまのご遺族の方を対象とするアンケート調査へのご協力をお願いを申し上げます。この調査は、無作為に選ばれたご遺族の方々にアンケートをお送りしています。

わが国では、人生の最期の大切な時間における医療の改善が求められていますが、その実態や課題を明らかにするためには、ご遺族の方々のご意見が不可欠となっています。

この調査は、ご遺族のご意見を広くお伺いする全国調査として、患者さまがお亡くなりになる前に利用された医療や生活の状況、ご遺族の方が介護を通して感じられたことをお伺いし、今後の医療の向上に反映することを目的としています。

- 別紙に調査の趣旨や内容について詳しい説明がございますので、ご一読ください。
- 調査にご協力いただける場合は、アンケート用紙に回答の上、同封の返信用封筒でご返送ください（切手は不要です）。
- 調査にご協力いただけない場合も、再度のご協力のお願いはしないようにするため、アンケート表紙の「協力しません」に○をしてご返送ください。
- ご返送は、このお手紙がお手元に届いてからおおよそ2週間以内に郵便ポストへご投函いただくと幸いです。アンケート用紙・返信用封筒に住所・氏名の記入は不要です。
- 調査はあなたの自由意思に基づいて行なわれるものですので、回答しない場合も不利益になることは一切ありません。

このようなお願いを突然お送りして、おつらい気持ちになられましたら誠に申し訳ございません。皆様からいただいた率直なご意見は、たとえ病気を患ったとしてもその方のご意向に沿った生活を支えていく医療の実現のために活かしてまいります。何卒ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

未筆ながら、時節柄、どうかご自愛くださいますよう、お祈り申し上げます。

謹白

令和6年2月

国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長 中釜 齊

この調査は厚生労働省の委託費にて行われています

